

第10号

令和5年10月1日

印刷 社会福祉法人コロニー印刷

こうせい

KUMAMOTO

編集・発行

更生保護法人
熊本県更生保護協会

特定非営利活動法人
熊本県就労支援事業者機構

(題字は米満弘之理事の筆によるものです。)



城彩苑 (熊本城内)

青空の日曜日、ゴミの収集も無くコロナで人影もまばら、ヒラヒラと舞う黄金は絨毯を敷き、白壁を眩しいほどに染めていました。

(写真提供 中央地区保護司・長野信行)

就任のごあいさつ

関係機関・団体のみなさまには、日頃より当連盟の事業に対しましてご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、10年の長きにわたり、会の活動に尽力されました立川和代前会長から会長の大役を引継ぎました。本年県連設立60周年を迎えた節目の年に身が引き締まる思いです。浅学菲才ではございますが、戦後間もない頃、ひもじさから、さまよっていた戦災孤児を「ほっとけない」と立ち上がったという更女活動の原点を胸に、活動してこられた先輩方のタスキをしっかりと受け継ぎ、活動してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

現在、熊本県更生保護女性連盟の会員は、36地区、1823名です。60年という時の経過のなかで、社会も大きく変貌し、格差の拡大により貧困が深刻な状況にあり、IT化が進む一方、人と人との関係が希薄となり、コロナ禍が加わり孤立する人々が増えています。これまでの先輩が切り開いた道を糧に、支え合い、誰もが孤立することなく、居場所と出番がある共生社会へ、更女会も、“地域を編む”担い手であることを自覚し、地域にネットワークを広めながら、一人ひとりが心豊かに生きることが出来る明るい社会の実現のために、新たな活動の歴史を築いてまいりたいと思います。今後ともご支援、ご協力よろしくお願い申し上げます。



熊本県更生保護女性連盟
会長 江田 宣子

第73回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～



熊本市推進大会（サンロード新市街）



内閣総理大臣、熊本県知事よりの
メッセージ伝達（東区）



熊本駅前にて警察官と社明連携活動



ゆめタウン浜線前にて広報活動



九州学院中学校1年生と社名啓発活動



阿蘇市役所での伝達式



第25回さわやかヤングステージ
（桜十字ホールやつしろ）



「早朝声かけ運動・グッズ用品販売」
本渡中学校

令和5年度熊本県更生保護就労支援事業所の受託者が代わりました！

今年の4月から、標記事業所の受託者が(株)アソウ・ヒューマニーセンターからNPO法人熊本県就労支援事業者機構に代わりました。

更生保護就労支援事業所は、国の委託により民間事業者が設置する更生保護就労支援事業所において、刑務所出所者等のうち、就労が困難な者について、早期の就労及び確実な職場定着を実現するために、関係機関と協力して継続的かつきめ細やかな支援を行うことで、刑務所出所者等の再犯の防止と円滑な社会復帰を実現するものです。

NPO法人熊本県就労支援事業者機構では、熊本保護観察所の指導のもと、協力雇用主組織の「くりの実会」や公共職業安定所「ハローワーク」等と連携しながら、刑務所出所者等の早期の就労及び確実な職場定着を実現して参ります。



熊本市市議会議員保護司との意見交換会

熊本市保護司会連絡協議会（会長秋吉展明）主催により令和5年8月23日、熊本市役所議会棟にて、各地区から代表市会議員5名、熊本市役所市民生活部、熊本保護観察所、熊本市内5地区保護司会会長参加のもと第73回“社会を明るくする運動”推進大会状況・活動報告及び、保護司活動の課題等について意見交換会が行われました。自己紹介後、今後も有機性を持って持続的に開催する事になりました。

第4回「熊本県更生保護司多士会」

令和5年8月12日（土）午後5時30分から第4回「熊本県更生保護司多士会」（会員数42名）が「熊本県更生保護センター」内で行われた。

今回は木原稔代議士（9月13日防衛大臣着任）をゲストに森良胤氏（29年卒）を筆頭に令和元年卒業までの14名の参加があった。

まず代議士より国の第二次再犯防止推進計画策定の経緯、基本的な方向性等の説明や、国の現状等約1時間にわたり講演された。

会終了後、近くの居酒屋で、先輩後輩にとらわれない楽しい雰囲気懇親会が開かれた。

この会は平成24年8月、山口弘幸氏（47年卒）外数名の方々から済々黌卒業生の保護司で、一度集まろうではないかとの意見があり実現したものです。



青森県・鳥栖市からのお客さん

★ 令和5年10月17,18日

鳥栖市市民相談員の方々(10名)が犯罪・非行を犯した人たちの更生を手助けする活動や予防するといった活動をされている方々との意見交換や保護施設等の見学を目的に当協会を訪問される予定です。

★ 令和5年11月19,20,21日

青森県から、更生保護協会2名、就労支援事業者機構3名、保護司3名、更生保護施設3名、協力雇用主3名、女性連盟1名、その他2名の方々が当協会を訪問される予定です。

八代保護司会が、令和5年度(第25回)「瀬戸山賞」を受賞!

八代地区保護司会は、長年「地域の子供たちを中心とした“社会を明るくする運動”の実現」をスローガンに、中学校での「命の大切さ」音楽コンサートの開催や管内7校の高校生を対象として、俳優の内谷正文氏による一人体験劇「Addiction～今日一日を生きる君～」と講演を、高校生が3年間の在学中に必ず1度は聴けるようにローテーションを組んで実施するなど、時代の要請にあった啓発活動の実践に取り組み、大きな成果をあげたことが評価され、他の範とすべき顕著な功績のあった保護司組織として受賞となりました。

伝達式は9月20日「東京日経ホール」で行われました。

瀬戸山賞とは、法務大臣等の要職を歴任され、永く更生保護事業の発展に貢献された、故・瀬戸山三男先生(天草市出身)の御遺徳を偲び、更生保護事業に従事又は協力した個人・団体を顕彰するものです。

更生保護事業への御支援・御寄付をいただきありがとうございました。

令和5年4月1日～令和5年8月31日(敬称略)

役員による寄附

河野晋一	100,000
立川和代	50,000
植田改造	10,000

篤志家による寄附

春竹校区社会福祉協議会	10,000
蔀 正勝	5,000

新しく役職員になられた方々

熊本県保護司会連合会

熊本中央地区保護司会	山口 義人
熊本東地区保護司会	石橋 綾
熊本南地区保護司会	井上 康則
宇城地区保護司会	坂本 順三
玉名地区保護司会	本田 佳吾
荒尾地区保護司会	村上 裕二
菊池地区保護司会	大塚 和順
阿蘇地区保護司会	小野真由美
芦北地区保護司会	黒田 宏信
菊池地区保護司会菊池分会	後藤慶治郎
菊池地区保護司会大津分会	緒方 宏信
上益城地区保護司会御船分会	明月 聖矢
芦北地区保護司会水俣分会	村上 文世

熊本県更生保護協会

常務理事	河野 晋一
理事	白瀬 嗣久
監事	千田 基史
評議員	金澤 俊吉
評議員	江崎 太一
参与	坂崎 徹

熊本県就労支援事業者機構

理事	河野 晋一
理事	石坂 敏明
理事	志水 一博
理事	江崎 太一

熊本県更生保護女性連盟

会長	江田 宣子
副会長	田中久美子
書記	日渡由紀子

令和4年度 更生保護法人 熊本県更生保護協会 会計報告

■ 収支決算書

収入総額 9,977,936円 支出総額 10,046,416円 繰越金 △68,480円

収入の部			支出の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
助成金収入	1,600,000	1,523,000	一時保護事業費 (金品給与)	200,000	231,000
篤志者寄附金	600,000	251,000	連絡助成事業費	9,105,000	8,267,712
役員等寄附金	860,000	830,000	事務費 (給料手当外)	2,980,000	2,823,733
財産収入	5,000	936	啓発費 (社明推進費外)	600,000	418,075
会費収入	6,300,000	5,777,000	連絡調整費 (機関誌発行外)	885,000	728,558
雑収入	35,000	96,000	助成費 (地区保護司会等への助成)	4,640,000	4,297,346
			管理費	1,594,000	1,547,704
運用積立金取崩	1,500,000	1,500,000	予備費	1,000	0
合計	10,900,000	9,977,936	合計	10,900,000	10,046,416

令和4年度 NPO法人 熊本県就労支援事業者機構 会計報告

■ 活動計算書

収益総額 3,183,043円 費用総額 2,958,104円 繰越金 224,939円

収益の部			費用の部		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
受取助成金	2,495,000	2,500,000	事業費	2,650,000	2,497,075
受取会費	450,000	479,000	奨励事業	300,000	160,622
その他収益	205,000	204,043	開拓事業	1,800,000	1,863,637
			研修等事業	50,000	0
			整備事業	150,000	148,181
			広報啓発事業	250,000	227,408
			連携事業	100,000	97,227
			管理費	500,000	461,029
合計	3,150,000	3,183,043	合計	3,150,000	2,958,104



私は帰る場所もお金もなく食べることも出来なくて罪を犯してしまいました。そのような私でしたが、オリーブの家にファミリーとして受け入れてもらい、自立を目指しての生活が始まりました。

聖書の学びの時間をとおして自分の考えが前向きになってきた頃、コロナの感染拡大で外出も自粛しなければならず、就職活動も出来ない状況で、この先どうしたらいいのか、とても悩んでいました。そのような自分を青木理事長が心配してくださり、オリーブの家でアルバイトという形で食堂の仕事や草刈り、畑作業などのお手伝いの話をいただきました。スタッフの方はとても優しく、仕事の仕方などを丁寧に教えていただきました。

その後、退室の期限が迫っていた時、「オリーブの家で職員として働いてみないか」と青木理事長が声を掛けてくださり、今現在、スタッフとして働いています。やっと帰れる場所を得られ、とても安心した事を今でも鮮明に覚えています。

仕事で常に心掛けている事は、当時の私のように帰る場所もなく大変な思いをしている方の気持ちに、経験者として寄り添いながら接していく事です。

オリーブの家に来られる方がもう二度と罪を犯さないように微力ながらお役に立てれば嬉しいです。



NPO法人オリーブの家
松崎 秀紀

資格があればな～ 入れ墨がなくなればな～ 困ってる人はお電話を？

資格取得	(原付免許証取得等) 及び入れ墨除去手術に対する補助金制度
助成金額	30,000円を限度とします (資格所得費用、刺青除去の医療行為のみの助成で交通費等は除きます)。
助成対象者	保護観察中の人か観察期間終了後3年以内の人に限りです。
申込方法	観察所、保護司、協力雇用主、熊本自営会、自立準備ホームを通じて事前審査申込書を熊本県就労支援事業者機構に提出して下さい。 申込み内容を検討のうえ連絡します。
お問合せ	熊本県就労支援事業者機構 電話 096-288-4375

今世紀最大のクイズ



問1 ジュースの空カン5本を集めると、新品のジュース1本と交換してもらえます。今、あなたは新品のジュースを200本持っています。
あなたは何本ジュースを飲めますか？



問2 くだらない問題ですが、男の人がエレベーターに乗りました。さてこのエレベーターは上と下どちらに行ったのでしょうか？

(回答は熊本県更生保護協会のホームページをご覧ください。)



ホームページ開設のお知らせ

URL kumamoto.koseihogo.org

URL kuma.syuroshien.koseihogo.org

熊本県更生保護協会

検索

熊本県就労支援事業者機構

検索

Mail info@koseihogo.org (協会・機構共通で使用できます)